

## 木材生産における先進技術活用セミナーの開催

### 1 はじめに

二戸農林振興センター林務室では、馬淵川上流流域森林・林業活性化センターとの共催により、木材生産における先進技術の活用等についての理解を深めることを目的とした標記セミナーを開催しました。

### 2 開催概要

(1) 令和2年2月27日(木)、(株)柴田産業の柴田智樹取締役をはじめ、岩手大学の立川史郎教授及び斎藤仁志准教授をお招きし、事例発表や話題提供、さらに全体討議を行い、県北地域の意欲と能力のある林業経営体等の41名が参加しました。



セミナーの全体討議の様子

(2) 柴田取締役からは、「欧州スタンダードの林業を目指して!」と題して、全国に先駆け本格的なCTL(Cut to Length=短幹集材)システムを構築した経緯や、ICT・IoT等の先進技術を活用した生産現場や木材輸送の効率化の事例を発表していただきました。

(3) 斎藤准教授からは、「先進技術の活用と作業システムのトレンド」と題して、レーザ計測・ICT等の先進技術の活用事例や導入に向けた課題をはじめ、システム構築のポイントや海外情報、作業システムの将来など、豊富な話題を提供していただきました。

特に、詳細な地形データをもとに、合理的な線形を自動設計する路網設計支援ソフトや、崩壊跡地等の災害リスクを可視化する地形表現図が開発され、路網設計や現地踏査が効率化されつつあるとのことでした。

(4) 最後に、立川教授がモデレーターを務め、柴田取締役や斎藤准教授、さらに会場を交えた全体討議を行い、質疑応答や意見交換を通じて、先進技術の活用や効率的な作業システムの導入についての理解を深めました。

なお、ICT等の先進技術の活用の基盤となる詳細な地形データの整備については、「縦割の壁を取り払い、連携して進めるべき」、「県北地域から始めてはどうか」との意見も出されました。

### 3 おわりに

木材生産の現場における人手不足が顕在化する中で、省力化・効率化への取組は不可避の状況にあります。

当センターでは、引き続き、関係機関と連携しながら、ICT等の先進技術の活用や効率的な作業システムの導入に向けた取組を支援してまいります。